

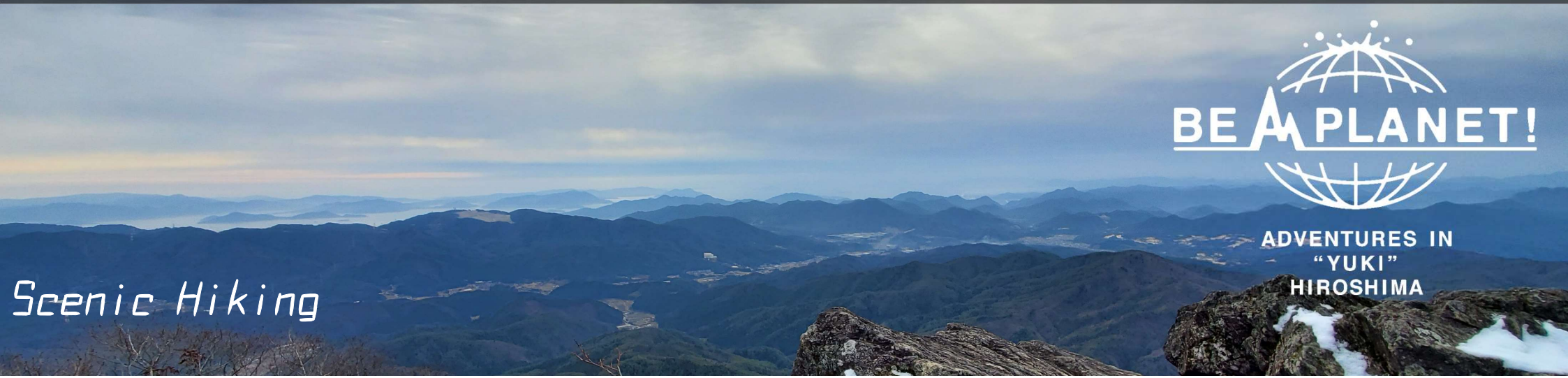


*River
Trekking*



*Traditional
Japanese
style house*

NPO法人湯来観光地域づくり公社の概要と湯来古道の取組について



Scenic Hiking



ADVENTURES IN
"YUKI"
HIROSHIMA

理事長 佐藤亮太

- 愛知県岡崎市出身 37歳
- 2014年4月に湯来町移住
- 2018年より理事長就任
- 簡単な職歴
福島ユナイテッドFC
→田舎caféおそらゆき オーナー（至現在）
→広島ゲストハウス縁 取締役（退任）→ 現職
- 受賞歴：第21回ひろしまベンチャー助成金育成賞金賞
- メディア：人生デザインU-29（NHK）
日本のチカラ（テレ朝系列）等
- その他：広島県おもてなし向上ネットワーク 委員
広島県地域福祉支援計画策定委員会 委員
NPO法人Peace Culture Village 監事
広島県観光連盟HYPPパートナー



NPO法人湯来観光地域づくり公社 事業概要

設立 2008年7月、理事：6名、スタッフ：12名



体験型プログラムの開発



特産品事業（産直市、特産品開発）



湯来交流体験センター指定管理業務



アウトドア型研修施設の運営



温泉街再生事業（貸し切り露天風呂、カフェ&バー）



シェアハウス



地域限定旅行業

国土交通省主催 水の里の旅コンテスト2020 最優秀賞、インバウンド特別賞
温泉総選挙2021 総務大臣賞、観光庁長官賞 W受賞（史上初）

湯来町の概要

2005年、広島市に合併

10,567人（1955年）

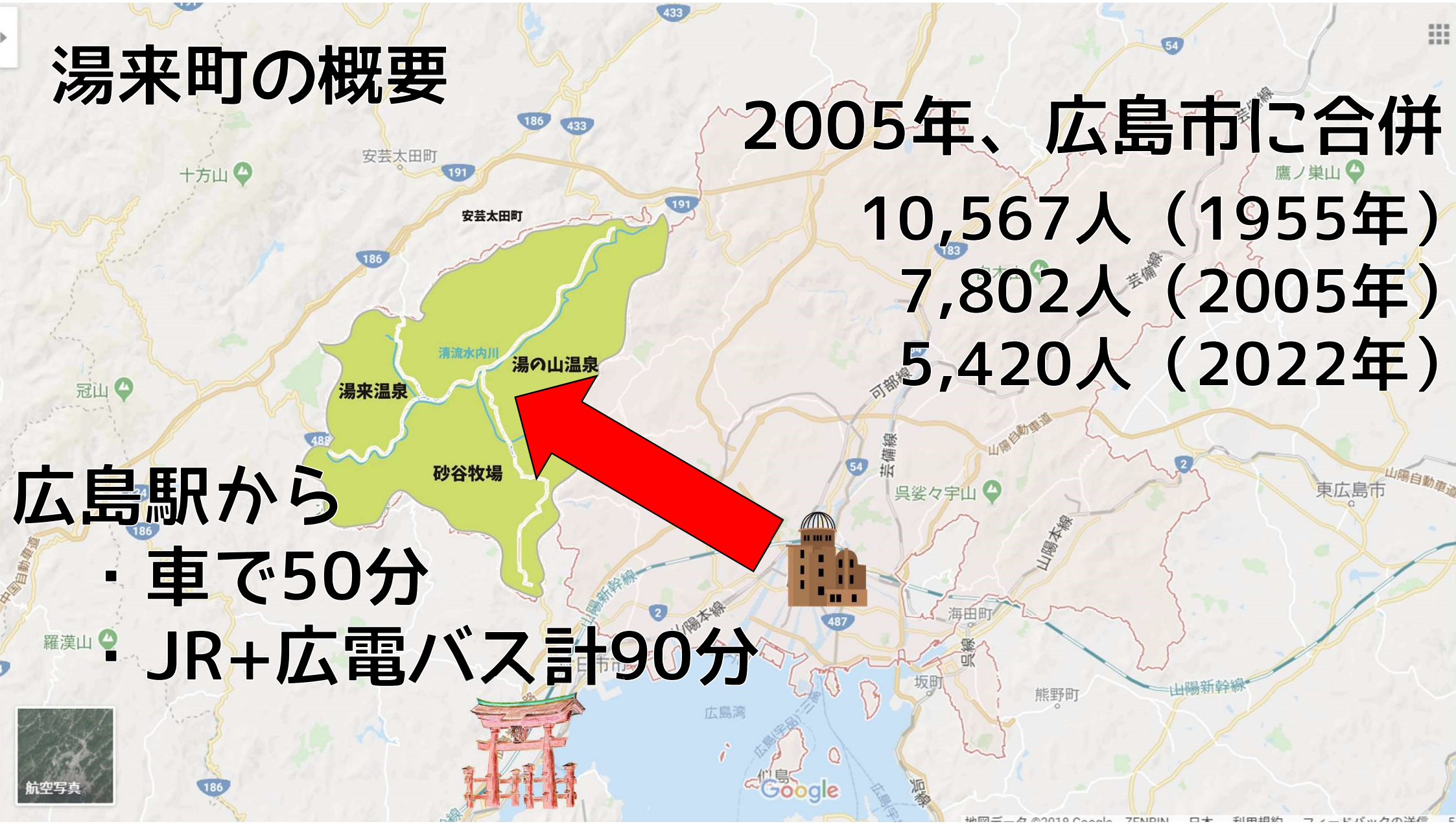
7,802人（2005年）

5,420人（2022年）

広島駅から

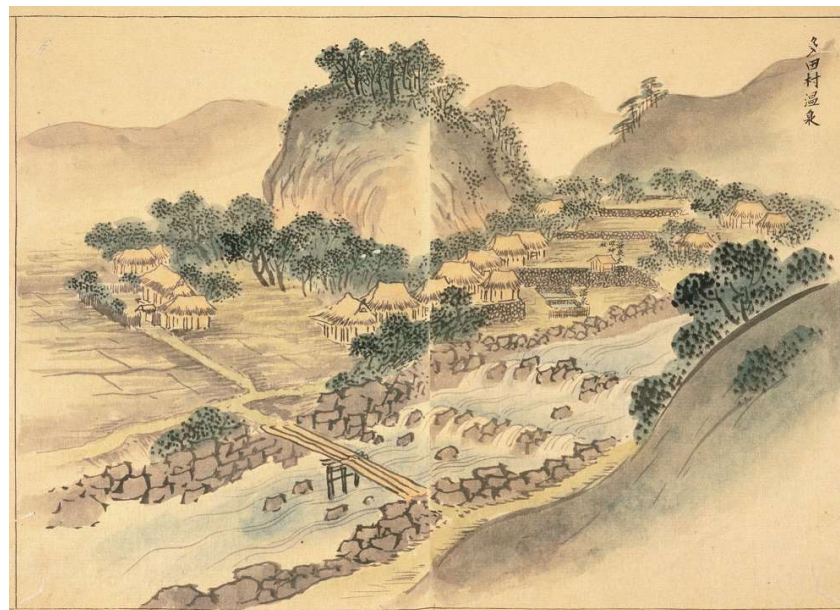
・車で50分

・JR+広電バス計90分



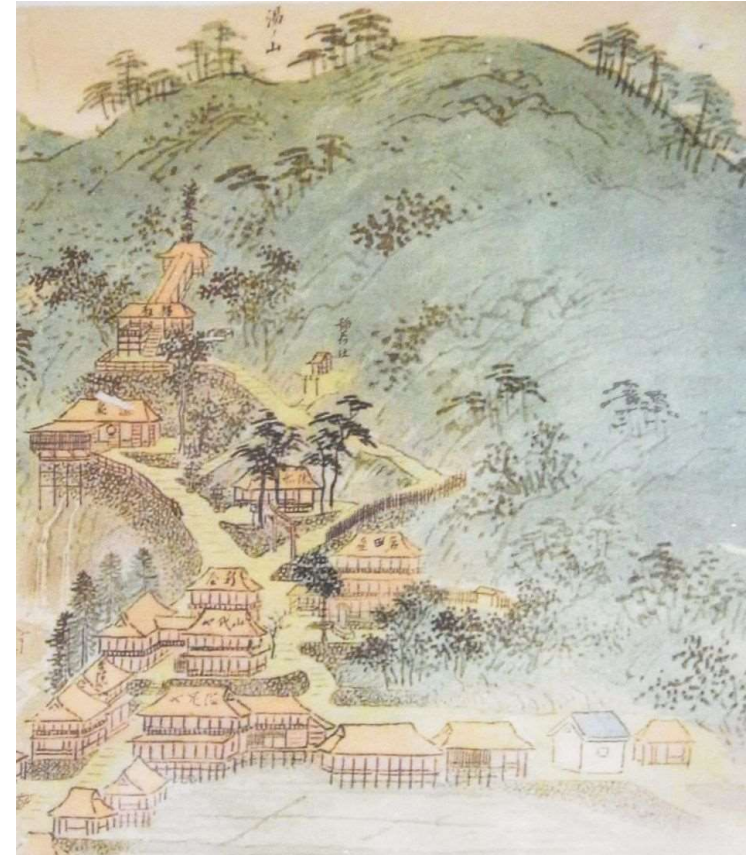
湯来温泉

- 開湯は1500年前とされる。
- 慶長年間（1596年 - 1615年）には、芸陽唯一の温泉場として賑わった。
- 江戸期には、「多田村温泉」とも呼ばれた。
- 今の湯来温泉は、1950年に開発。広島の奥座敷として栄え、多いときには13軒もの旅館・民宿があった。
- 今では、旅館が2軒のみ。



湯の山温泉

- 開湯は大同年間と伝える。
- 江戸時代、広島藩主の湯治場として栄える。
- 寛延元年(1748)には 湯治宿が37軒建つほどにぎわい。
- 藩絵師岡岷山が入湯し、「都志見往来日記」に当時の繁栄ぶりを記録する。
- 1974年「湯ノ山明神旧湯治場」が国の重要有形民俗文化財に指定（**全国で223件だけ、温泉としては全国唯一**）。
- **平成の最初には7～8軒の宿が残るも、今は1軒のみ。**



衰退の進む湯来町を 活性化させるため、 2008年設立。

- 2005年：湯来町と広島市が合併。
市の方針：温泉だけのまちから、体験交流のまちへ
湯来ニューツーリズム推進実行委員会が発足。
- 観光の拠点施設として、湯来交流体験センターの設立構想
- その準備として体験プログラム開発をスタート。
- 2008年：施設運営の受託を想定し、NPO法人化。
- 2018年：理事長引き継ぎ





目指していること

- 体験型プログラムを柱に雇用を創出。
- 子育て世代が住みたい！と思えるまちに。
- 観光客が来ることで、地元住民も幸せに。
- 次世代が育ち、人的・環境的・経済的に持続可能なまちへ。
- “余白日” という概念で、湯来町、そして日本各地に貢献。

産直市の運営 (湯来特産品市場館)

- 地元産品の販売



えどゆきツアー

2013年から



NPO法人湯来観光地域づくり公社 事業承継当時

理事：6名、スタッフ：5名

売上も少なく、
何もできない！！
活性化に程遠い！

広島市民アンケート調査

- 2019年、中国経済連合会様にご支援いただき、アンケート調査
- 全体では、71.2%の人が湯来に行ったことがある。
→昔行ったことがある。最近の湯来を知らない。
- 20代男性：全く知らない 18%
- 知っているが行ったことはない 23%
- 20代女性：全く知らない 9%
- 知っているが行ったことはない 38%

広島市湯来交流体験センターの 指定管理を取りに動く（2018年）

経営基盤の構築と雇用の受け皿として。

→2019年から指定管理を受託

- 各種体験プログラムの受付・実施
- 湯来町の観光案内
- 企業研修等の受け入れ

新たに

- BBQ・キャンプ場の整備



基盤はひとつできたけど

- 事業の柱を増やしていく必要性
- 指定管理だけじゃ、面白くない





体験型プログラム をもうひとつの事業の柱に (2019年～)

それまでも土休日中心に様々（種類も価格も）なプログラムをしていた
1000円～5000円



★高単価（当時5,000円）で満足度が高い、僕も楽しい
シャワークライミングが鍵になる
2019年、参加者60名ほど



- ①平日も稼働させ雇用増やしたい
→インバウンド、研修
- ②通年、毎日、前日までに予約すれば、いつ来ても質が高いプログラムを提供できるか
→ガイド人材の拡充

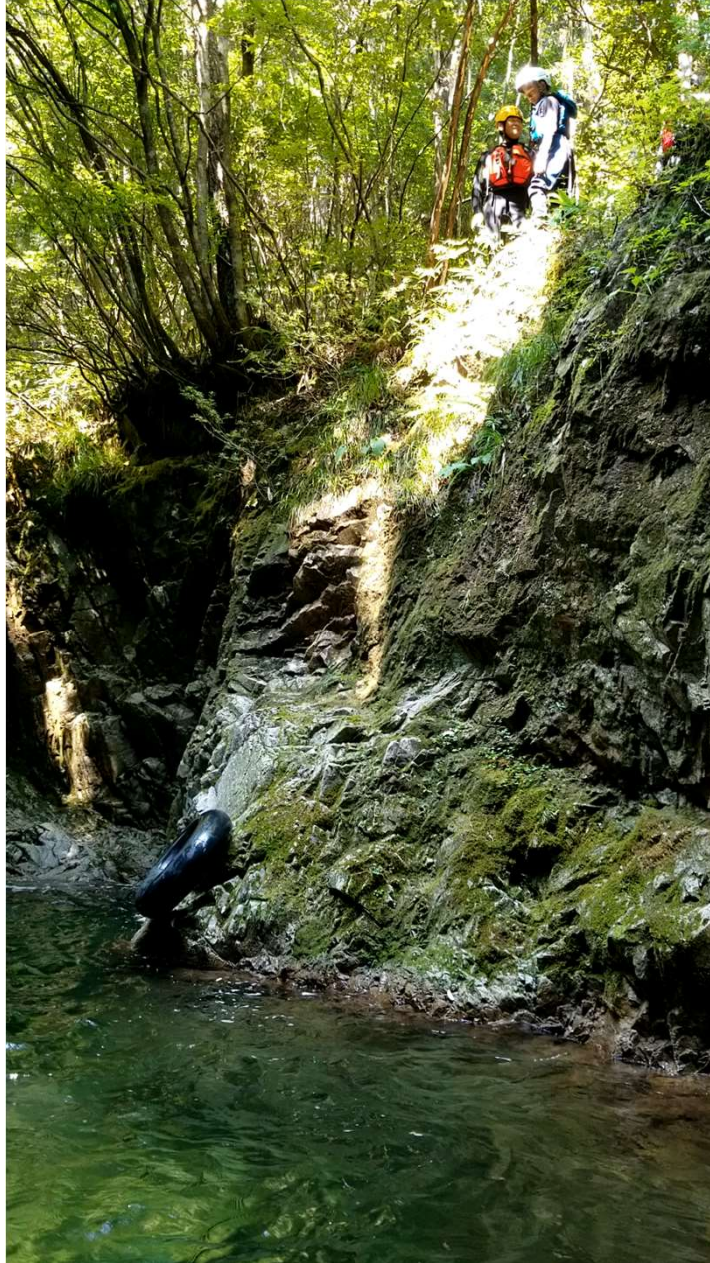


シャワークライミング

川の中を上流に登る冒険プログラムを通じて、チームビルディングや環境、防災、平和、SDGsについて学ぶ。











プログラムの値上げ

- シャワークライミング
1日5,000円（ランチ付き）
→半日9,000円（ランチ無し）
- 人生観が変わる体験、だとしたら安すぎる
- 逆に参加阻害要因に
- プライドと、自分たちへのプレッシャー
- 雇用につなげ、質の向上へ

体験→ 人生観が変わる体験

楽しいのは当たり前、どこにでもある

- 自己変容
- 仲間との一体感
- 深い学び

をプログラムを通じて得られるか

人材育成の観点から、
プログラム内容の見直し

環境教育の要素も加える
→環境保全への意識醸成



コロナ!

緊急事態宣言と同時に採用活動スタート

- ・ 地方への人の流れが加速するに違いない

→ 全国から60名の応募

2020年8月から3名の新メンバー

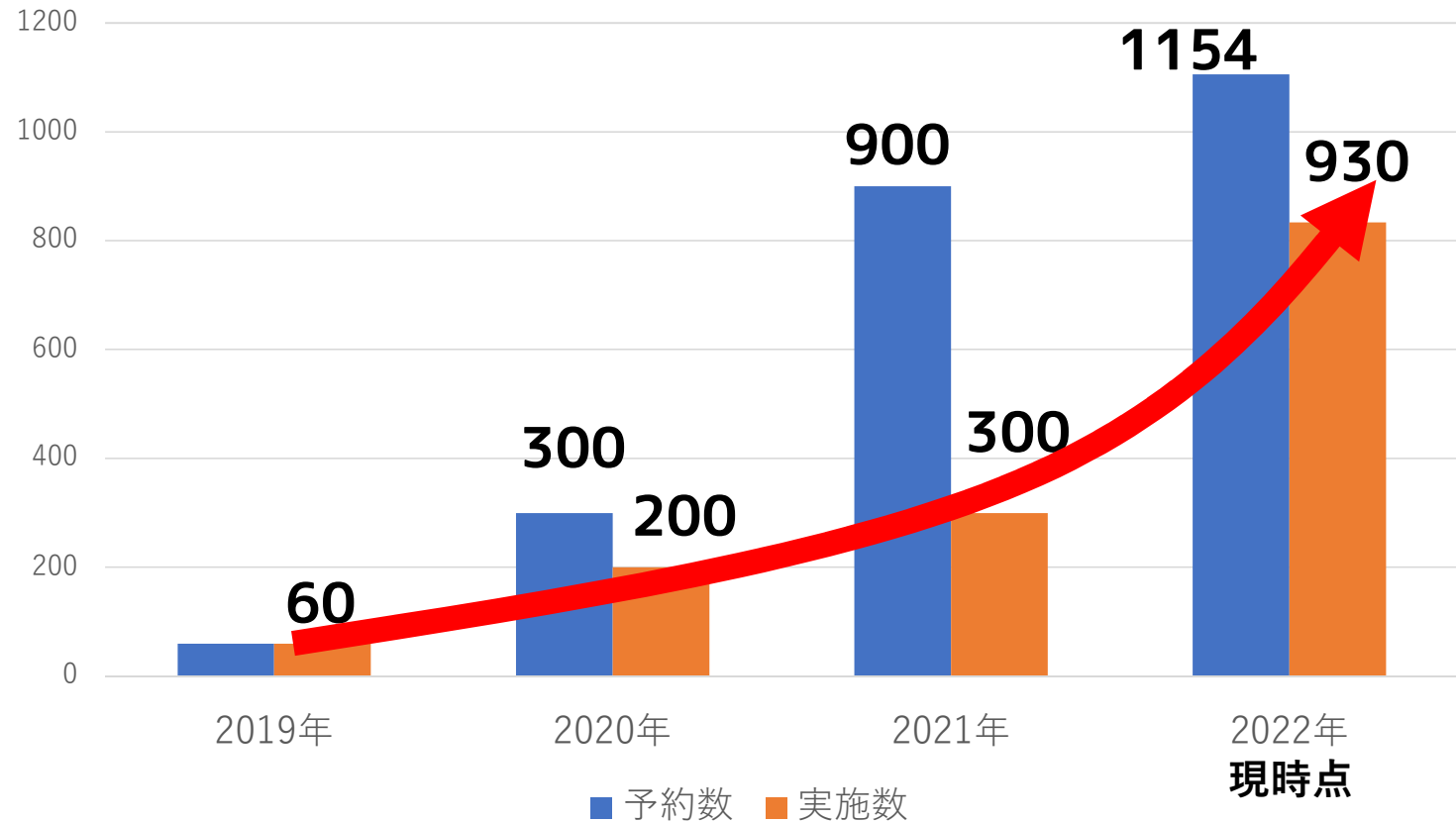
毎日いつでもアドベンチャーの受入ができる体制に移行
2人は英語話せる



参加者推移



シャワークライミング予約数と実施数



昨年はコロナと大雨によるキャンセルは痛手だが、
確実に、アウトドアの街という認知は広まってきている。
新たな雇用も創出できてきている。

広島初！ CAMPING OFFICE

アウトドア型研修施設

アクティビティも組み合わせること
で、研修効果が向上。

湯来の地方創生に企業参画する流
れを作りたい

CAMPING OFFICE HIROSHIMA

Supported by

 snow peak
BUSINESS SOLUTIONS



テントサウナ

- ・ アウトドア型サウナ
- ・ 水風呂は川！
- ・ 20代の来訪が増えた



- ・ 若者が地域に関わるキッカケ
- ・ 企業連携の促進



大峯山トレッキング

- ・ 広島市最高峰の大峯山。
- ・ 運が良ければ、九州まで見られることも！
- ・ 生態系、山・川・海の関係性を学びながら
- ・ 昔は宮島の修験者が？



- ・ 雇用増につなげられる
- ・ 山を整備する必要性を伝えられる





E-MTB

- ・ 林道をE-MTBで爆走
- ・ 10分登山で、大峯山山頂からの絶景



- ・ 雇用増につなげられる
- ・ 山や林道を整備する必要性を伝えられる



こんにゃくづくり

- 湯来といえはこんにゃく
- 今話題の、オオサンショウウオこんにゃくづくりも！



里山サイクリング

- ・ 2020年からe-bikeを導入。
- ・ レンタサイクルとサイクルガイドツアーを実施。



- ・ 車を持たない人の周遊が可能に
- ・ 町内の飲食店への経済波及効果
- ・ 観光客と地元住民の接点を作りやすく、地元住民の生きがいに



ゆきこどう～えしおかみんざんがあるいたみち～

湯来古道～絵師岡岷山が歩いた路～

<キツカケ>



「私がまだ小さかったころ、毎日たくさんの旅人がこの前を歩いていきました」

「大きな荷物を載せた馬を連れたお爺さんもいました」

「荷物は**昆布だ**ということでした」



「海から遠い山県なのにおかしいねえ??と不思議に思ったのを覚えています」

「**毎年、秋**に通っていましたが、戦後には見かけなくなりました」

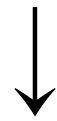
草取りをしていた
おとしよりのお話

きたまえぶね
北前船

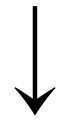


復元北前型弁才船「みちのく丸」野辺地町HP

昆布



北前船

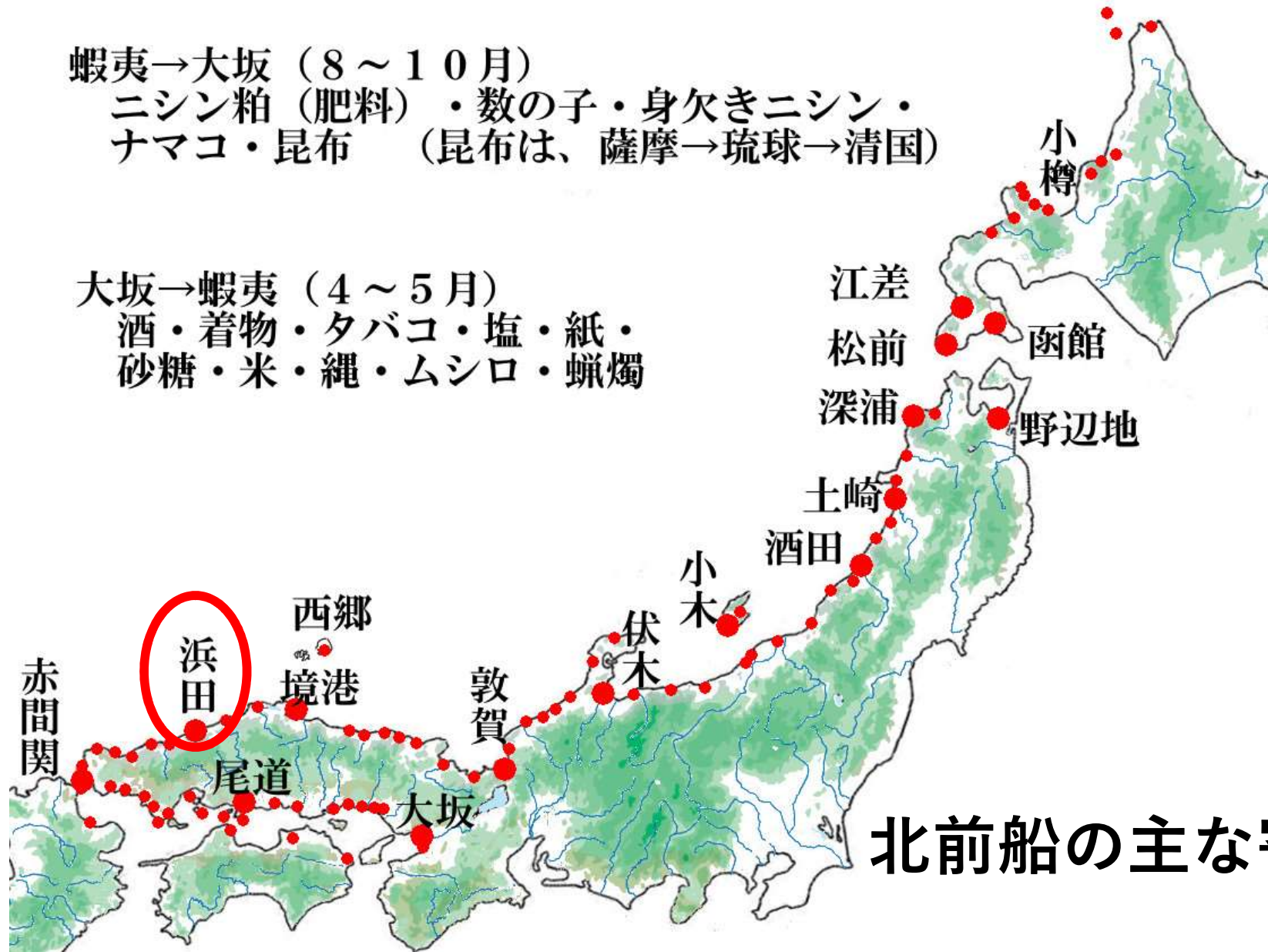


浜田
! ?

昆布

蝦夷→大坂（8～10月）
ニシン粕（肥料）・数の子・身欠きニシン・
ナマコ・昆布（昆布は、薩摩→琉球→清国）

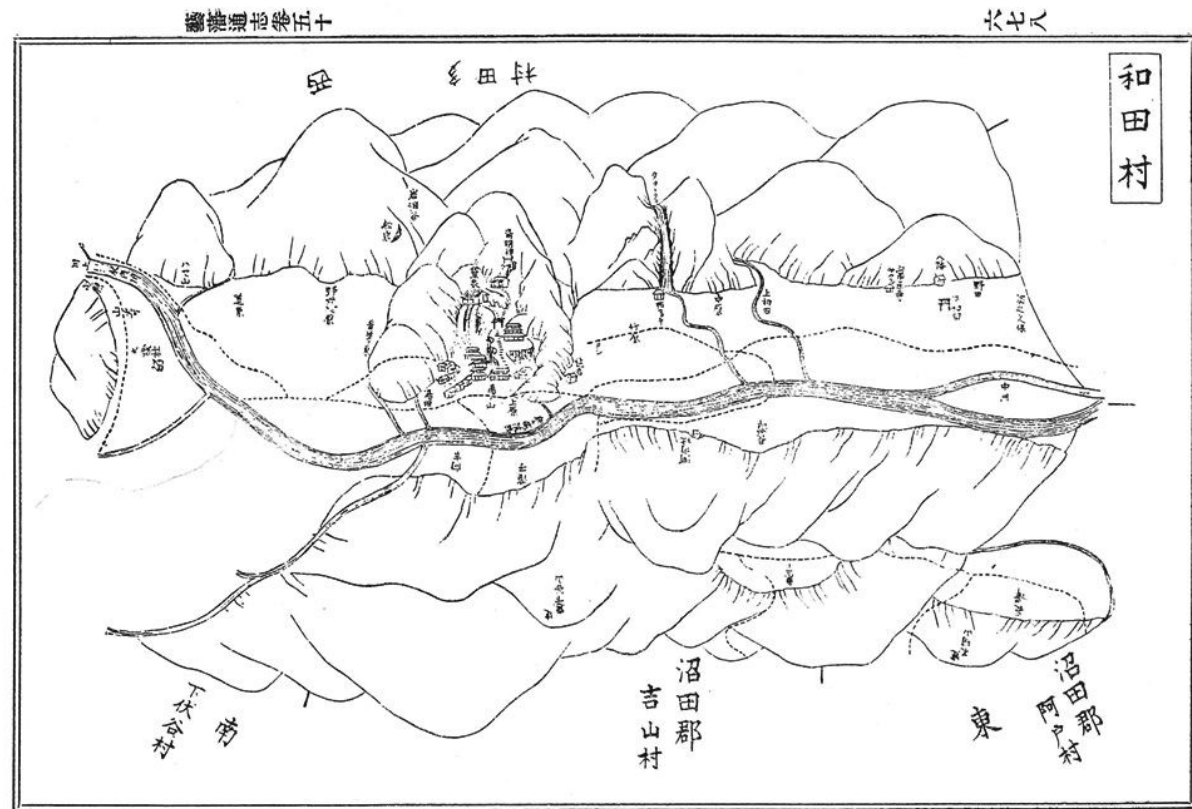
大坂→蝦夷（4～5月）
酒・着物・タバコ・塩・紙・
砂糖・米・縄・ムシロ・蠟燭



北前船の主な寄港地

< 古道さがしが始まりました >

- 古老への聞き取り
- 明治期の地図
- 芸藩通志（1825）
村々から提出した
資料をもとに編集。
絵図もついている
- 都志見往来日記
都志見往来諸勝図
（1797）



岡岷山（おかみんざん）：広島藩士・画家

北広島町の駒ヶ滝に写生旅行にでかけ、「都志見往来日記」と「都志見往来諸勝図」をのこした



都志見往来日記
山陰郡都志見の
飛泉を其首
志多年を其事
官中を其事
余下
と云ふ事不詳
ふり前の山川

古道沿いには、神社や祠、観音、地蔵などを祀っていることが多い





湯来は
浜田と厳島を結ぶ
最短ルート上に
あった！

神楽も石見から
矢上→橋山→白砂舞
→安芸十二神祇

えどゆきツアー

2013年から



5つのコースと パンフレット





各コースの内容 を記した小冊子 (A5、20ページ程度)



湯ノ山コース



郡志見往来諸勝園にある「ウスタ重」
分かれ道と同じ絵（水内左）に岩洞山と日ヶ重が描かれています。日ヶ重の名前は現在では伝えられていませんが、感志山の西の岩です。しかし分かれ道付近からでは、その岩は絵のように見えません。郡志見往来日記には、「川を渡りて民屋数軒あり。田、和田村なり。川ハ右の方、山にそめて北に流る。十町ばかり行て、道の左右、松茂りたる所より左の方、崖に岩、重なりたるを日（うす）ヶ重（ぢゆう）といふ。其峯を岩洞山といふ。前ハ關の山なり。山の尾さ記（き）を廻りて、田、水内の温泉なり」と書いています。「十町ばかり」というと、1 km 余りです。分かれ道の先、岩洞谷川を渡ったあたりでしょう。この角度から見ると岷山の絵のように見えます。このことからわかるように、岷山は違った視点から描いた多数の下絵を組み合わせて一つの絵に仕上げたようです。



分かれ道あたりから見ると、絵の姿とは違って見える

岩洞川を渡るあたりから見た日ヶ重

見開き3枚続きの絵の解説

岷山の絵と描いた場所

湯来古道 ～絵師 岡岷山が歩いた路～



岡岷山は、第7代藩主浅野重茂(しげあきら)公に仕えた藩士で精密画が得意でした。藩主の信頼が篤く、「御絵御用」の役向きを積んで多くの絵画をのこしています。

1797年10月12日(寛政9年8月23日)、湯来町を通過して都志見(山原郡北広島町)の駒ヶ滝まで8日間におたる旅に出かけました。旅行後に提出された「都志見往来日記」と「都志見往来諸勝図」は原簿の被害をまぬがれ、広島市立中央図書館で保管されています。

全部で37景の絵がありますが、湯来町内では12景の絵を描いています。そのうち「水内」は3枚続き、「比丘ノ瀨」は2枚続きです。ぜひ現地まで出かけて、それぞれの絵と現在の様子とを比べてみてください。



- 1 大森<大森神社>
- 2 白井ノ瀨<白井の瀨>
- 3 銅石<銅石>
- 4 堂原<道原の対岸から>
- 5 水内 <瀨の山入口> <瀨の山温泉> <妙安寺付近>
- 6 たらたら瀨<たらたらの瀨>
- 7 石ヶ原<石ヶ原>
- 8 名号石<名号岩>
- 9 比丘ノ瀨<比丘の瀨滝>
- 10 多田村温泉<湯来温泉>
- 11 天狗岩<打尾谷手前>
- 12 松岩<船岩>



この案内板は一般社団法人 中国建設弘済会の助成を受けて作りました。岡岷山の絵画の利用については令和3年8月11日付けで広島市立中央図書館の承諾を得ています。 NPO法人 湯来観光地域づくり公社

一社 中国建設弘済会の補助で案内板を設置 (R4)

ツアーの様子



湯の山コース



岡岷山の絵とくらべ
ながら
石ヶ谷コース


「タカノツメです」

文字通り道草を食いながら

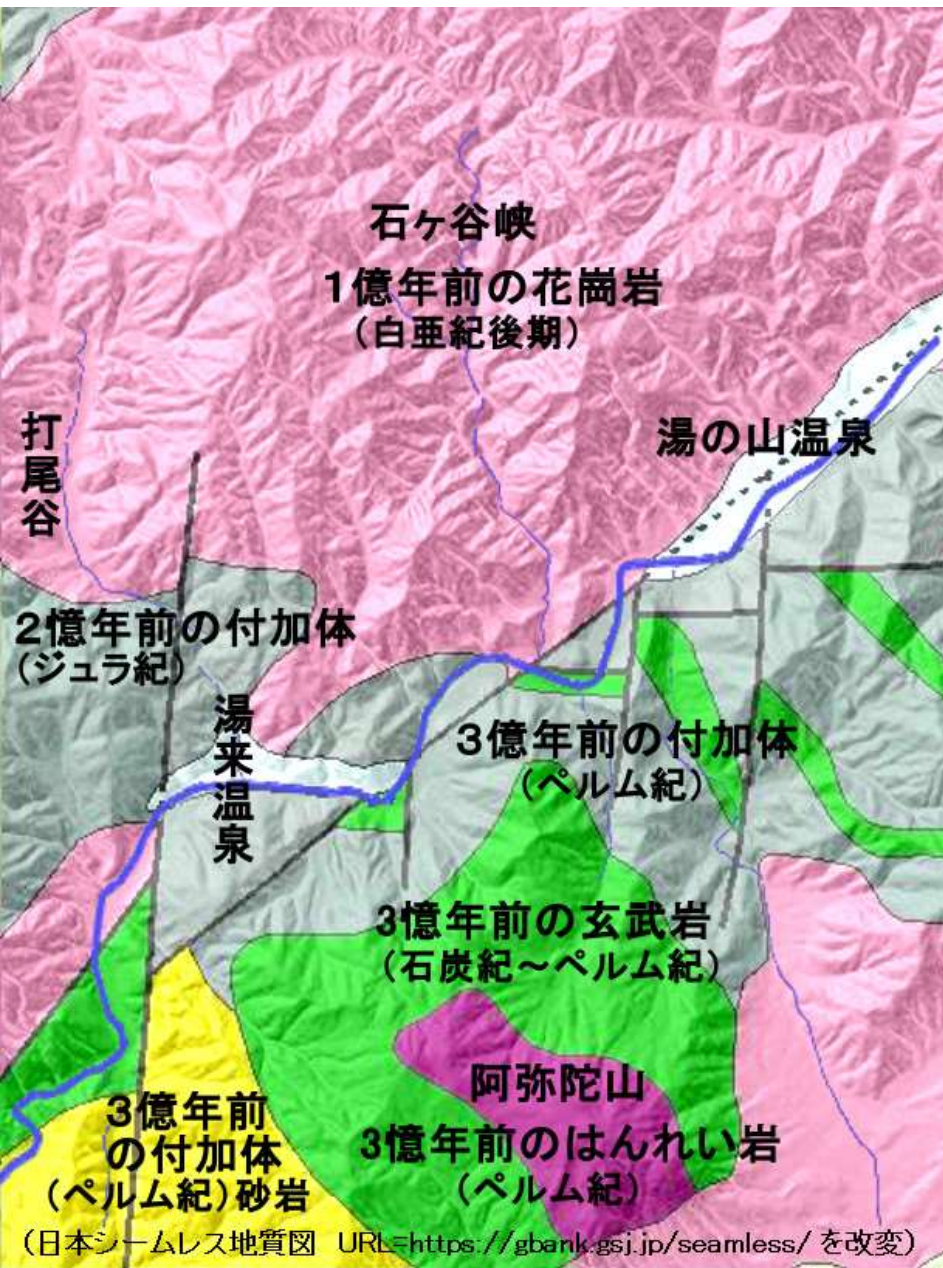
石ヶ谷コース



岷山は『かとう蘭雪
もよう美しく花咲け
り』と書いてます。



ナメラダイモンジソウ



「3億年前に海底で堆積しました。プレートに乗って移動し、中国大陸にくっつきました」

岩石を見ながら地質の説明も
石ヶ谷コース



ヤマゼミがいた！

パツと開いて花粉
を飛ばします


カテンソウ





イチリンソウが
咲いていました

豊かな自然の中を
ゆっくりと歩きます



ノササゲ